

期間  約定日  受渡日

2026/05/19 から 2026/05/19

今日 今週 今月 今年

照会

商品	実現損益(税引前)	利益金額	損失金額
国内株式(信用) >	+2,500円	27,480円	-24,980円
合計	+2,500円	27,480円	-24,980円

2026.5.19 地合い



寄り付き直後は少し損切り幅を大きくしているが、さらに突き抜けられた。

エントリー位置を妥協していたから、①の6取引で損切祭りとなった。(合計11840円の損切)

①の取引を経て、損切しすぎて損失回避バイアス過多モードとなり利確幅が小さくなってしまった。よって利確した瞬間にもっと下がる・上がることが多々あった。早く利確をすることが悪いのではなく、引き付けが甘いエントリー(損切幅が大きい)を繰り返して損失を膨らませ損失を極端に回避するメンタルにしたことが良くない。こういう時は損切する板の下or上に指値して、刺さらなかったらしょうがないと機会損失を受け入れるしかない。

これを繰り返してまったくエントリーできず、板見てここで止まったとかほかの根拠があるなら、エントリーポイントをずらしていくか調整すればよい。3回連続負けしたら自分の売りor買い目線が違っているかエントリーポイントが少しずれていると想定して相場ごとに調整していくことを意識。

①の損失がなく仮に1万円の損失バリアがあった場合、中計フジクラ相場にて、チャンスだと感じた場面3回のエントリーをすることができていた。2回入って収支プラ転した瞬間に、入って負けたくないという思いが大きすぎて入れなかった。

入れなかった3回の取引は、全部利確出来ていた。エントリーした瞬間に値動き発生する箇所だったため。でも、それは結果論だけで万が一トレンド転換した場合、一瞬で損切となり収支マイ転するリスクがあった。

自信はあったが、負けたくない選択をした。チャンスにきちんと取引できるメンタルを維持できるだけの収支をコントロールしていきたい。もったいなかった